

(2) キャリア教育全体計画

1 全 体 目 標

- 高校での学習や体験を通して、社会人・職業人として自立するための基本的知識・技術と態度を育てる。

2 現状・課題

3年間を通じて数多くの企業見学を行うとともに、2年生においては就業体験(インターンシップ)を行い、働くことの意義と大変さについて学んでいる。就職することが最終目的ではなく、将来のことを見据えたキャリア教育に取り組むことが課題である。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。
学校で言い換えた力でもよい。

- a 学校生活を通して基本的な生活習慣を確立するとともに、社会や学校のきまりを遵守し、社会の一員として活動する能力
- b 工場見学・就業体験・大学訪問などを通じた自己理解および自分の将来を見据えた情報収集能力や進路選択能力
- c 工業高校生としての「ものづくり体験」を通じた基礎的技能および課題対応能力とプレゼンテーション能力

4 内 容

指導項目	指導方針(対応する項目)
①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 将来を見据え、各教科の学習から各自で専門学科を選択させ、自己の生き方や職業を考えさせる。〈①、③、④、⑤〉
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	イ 工場見学を行い、実際の生産現場を見学し働く意識を醸成する。〈①、③〉 ウ 各取組の繋がりを意識させ、3年間で系統的なキャリア教育を行う。
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	エ 社会人講師講演会や就業体験を通して、社会人としての基礎的・汎用的能力を意識させる。また、事前・事後指導を必ず行う。〈②、③〉
④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	オ 生徒、保護者、教師などで随時、懇談を行う中で卒業後の進路を考えさせ進路実現を目指す。また、次の指導の参考とする。〈⑤〉
⑤資格・技能検定に挑戦し、技術技能を高める	カ 資格取得を推進し、将来に役立つ技能や知識を身につける。〈②、⑤〉

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等(実施学年)
教科の授業	・工業人として「ものづくり」に携わる力を育成するため、身近な事柄や工業的話題と関連づけ ・学校設定科目工業「ものづくり技術」選択2単位「産業財産権の基礎」選択2単位ほか<3年>
総合的な探究の時間	・代替科目「課題研究」では、3年間の学習の集大成として自ら選んだテーマで研究を行う。学科別発表会・全体発表会を開催する。<3年>
特別活動	・勤労観・就業感を形成するため地域をはじめとした会社見学の実施<1, 2, 3年> ・「ものづくり」の発表の場としての文化祭
校外の体験活動(就業体験活動等)	・就業体験活動 <1, 2年> ・福祉施設体験、ボランティア
地域や産業界等との連携	・駒ヶ根市の「テクノネット駒ヶ根」、商工会議所などの協力を得て、工場見学・就業体験・実習・資格などの技術指導を受ける。また、駒ヶ根市と協定を結んだ「うみがめプロジェクト」の取組を行う。 ・地域の企業、大学との連携研究、企業見学、管内企業との職場体験の構築
評価	・学校評議委員会、保護者アンケート、生徒アンケートの活用 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用
中学校との連携(指導の継続性)	高校入学時までのキャリア教育の振り返り(進路ノートの利用) ・体験入学・学校説明会で高校のキャリア教育を説明
校内の推進体制	・全教職員で推進する。
キャリア・パスポートの取組	・小中高で行ったキャリア教育について記録を残し、振り返りが行えるようにする。

(3) 学年別年間指導計画

学年別目標と取組・評価

	1 年	2 年	3 年
目 標	○自己を知る、社会を知る ○進路を研究する ○基本的生活習慣の確立	○選択した学科で専門教育を深める ○適性を探り進路を考える ○資格・技能検定の積極的に取り組む	○確かなキャリアプランに沿った進路実現を目指す ○問題解決能力を高める
主 取 組	○高校生活への適応 ○就業体験を通し職場や社会の理解	○就業体験を通し職場や社会の理解 ○資格・技能検定の補習指導	○進路実現までの具体的目標設定、計画及び課題の明確化 ○就職試験に向けた基礎学力の充実
評 価	・生徒意識調査(県教委) ・生徒・保護者アンケート(学校)	・生徒意識調査(県教委) ・生徒・保護者アンケート(学校)	・生徒意識調査(県教委) ・生徒・保護者アンケート(学校)

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動 等	その他(面接・評価等)
1 年	(記入例)・共生社会と福祉(家庭) ・ともに生きる社会を目指して(公民)	福祉社会における私たちの役割を考える 特別養護老人ホーム訪問(交流)	特別養護老人ホーム訪問に向けて(講話及びホームルーム活動)	ポートフォリオを用いた自己評価
	4 シラバス説明		6 大学見学、工場見学	4 生徒意識調査、面接 学科選択指導
	7 工業技術基礎 情報モラル			7 三者面談
	夏 休 日		8 工業教育活性化セミナー	
	9		10 文化祭(ものづくりを中心とした発表) 12 社会人講師による講演会・企業見学(うみがめプロジェクト)	11 学科選択 12 三者面談
	12	1 全校課題研究発表会		1 生徒意識調査(県教委) 1 生徒・保護者アンケート
	1 3 春 休 日			
2 年	4 シラバス説明		これまでのキャリア振り返り(進路ノート) 6 大学、工場見学 7 就業体験(事前研究) 技能検定指導(前期)	7 三者面談
	7		8 就業体験 8 工業高校生学習合宿 8 工業教育活性化セミナー	
	夏 休 日		8 就業体験(事後まとめ)	
	9		10 文化祭(ものづくりを中心とした発表) 11 修学旅行(企業視察)	12 三者面談
	12 公共 経済の仕組み 豊かな生活の実現 労働者の権利、雇用			
	1 3 春 休 日	1 全校課題研究発表会	1 技能検定指導(後期) 1 上伊那企業説明会 3 春期会社見学	1 生徒意識調査(県教委) 1 生徒・保護者アンケート
3 年	4 シラバス説明 学校設定科目 ものづくり技術 産業財産権の基礎 6 言語理解 作文・小論文対策	課題研究 4 課題設定	5 産業視察(安定協会主催) 6 大学、工場見学	就職指導 進学指導 6 作文小論文指導 7 三者面談
	夏 作文・小論文指導		7 応募前企業見学 8 工業高校生学習合宿 8 工業教育活性化セミナー	8 面接指導
	休 日			
	9	9 中間まとめ・発表	10 文化祭(ものづくりを中心とした発表)	1 生徒意識調査(県教委)
	12	11 研究まとめ・発表準備 12 各科課題研究発表会		
	1 2 3	1 全校課題研究発表会	2 社会人講話(労政事務所・労働者の権利)	1 生徒・保護者アンケート 3 年間の評価